

9.

社会貢献

▶社会貢献概要

ジェンダー研究所所属研究者は、行政機関が開催する男女共同参画関連講座の講師を担当したり、メディアの専門家取材に応じるなど、研究成果の社会還元に取り組んでいる。2021年度はオンラインならびに対面の講演会での講演や各種メディアの取材対応など、ジェンダー研究の成果を積極的に発信した。

■ 駐日外国公館での講演

申琪榮（教授）

- ・ 駐新潟大韓民国総領事館主催「日韓ジェンダーフォーラム」（オンライン方式とのハイブリット開催）パネリスト「男性優位の政治を変える」、2021年10月18日

■ 他大学や研究機関での講演等

申琪榮（教授）

- ・ 公益財団法人 笹川平和財団主催 「アジアの女性の政治リーダー育成」事業 「東南アジアにおける女性政治リーダー育成」ウェビナー講演、2021年9月9日
- ・ アジア女性資料センター主催オンライントークイベント「政治にうんざりしている場合じゃないわたち」（辻元清美*申琪榮）、2022年3月12日

大橋史恵（准教授）

- ・ 東京都立大学オープンユニバーシティ オンラインスペシャル「今、ジェンダーについて考える」連続講座、「再生産労働とジェンダー：『逃げ恥』からグローバル・ケア・チェーンまで」講義担当、2021年11月20日

仙波由加里（特任講師）

- ・ 横浜市立大学地域貢献センター主催 イクステンション講座「医療と倫理を巡る三つの講座」講師、2021年10月9日

■ 男女共同参画センター等での講演

申琪榮（教授）

- ・ 新潟県教職員組合「新潟県母と女性教職員の会」主催講演会「私たちの社会参加：ジェンダー・センシティブな市民が社会を変える」、2021年10月23日
- ・ 富山県女性財団主催講演会「合言葉はパ・リ・テ！ 意思決定の場を男女同数に」2022年2月12日

■ 地方公共団体男女共同参画事業への参与

申琪榮（教授）

- ・ 兵庫県明石市「ジェンダー平等の実現に関する検討会」委員（2021年12月～）

■ NPO 事業への参与

申琪榮（教授）

- ・ 女性政治リーダーを養成する一般社団法人「パリテ・アカデミー」（Academy for Gender Parity）共同代表。一般向けオンライン講座や講演会を企画・開催。

■ 新聞等記事へのコメント提供ほか

申琪榮（教授）

- ・『信濃毎日新聞』『宮崎日日新聞』『佐賀新聞』『山陰中央新報』『京都新聞』『西日本新聞』ほか 2021 年 4 月 8 日「内閣府地方議会調査 対策に結びつく実態調査を」
- ・『世界』2021 年 7 月号「特集 2 さらばオトコ政治：「政治とお金」のジェンダー格差」
- ・『47NEWS』2021 年 7 月 3 日「深刻な日本のジェンダーギャップ、改善阻む要因とは？ 政治、経済、教育に潜む障壁、3 人に聞いた」<https://nordot.app/782845005632061440>
- ・『望星』2021 年 8 月号「女性の政治家を増やさなくてはいけないワケ 政治という仕事を魅力あるものに」
- ・TBS ラジオ『荻上チキ・Session_特集』2021 年 9 月 9 日「荻上チキ・Session_特集「自民党総裁選から女性の政治参画を考える」」<https://www.tbsradio.jp/articles/44176/>
- ・『朝日新聞デジタル』2021 年 9 月 26 日「政治は豊かに？ ジェンダー政策で読みとく総裁選初の「女性 2 人」」<https://www.asahi.com/articles/ASP9V6JMSP9TOHGB009.html>
- ・『朝日新聞』2021 年 9 月 27 日「総裁候補に女性 2 人 効果は」
- ・『新潟日報モア』2021 年 10 月 19 日「育児、介護 女性に偏る負担どう解消－新潟で韓日ジェンダーフォーラム」<https://www.niigata-nippo.co.jp/news/national/20211019648233.html>
- ・『朝日新聞』2021 年 10 月 22 日「耕論 2021 衆院選「女性政治家」への視線」
- ・『朝日新聞』2021 年 10 月 26 日「[2021 衆院選] 女性の政治家が増えないわけは 政治トップ生んだ韓国、台湾との違い」<https://www.asahi.com/articles/ASPBT3W3DPBSUPQJ002.html>
- ・『中日新聞』2021 年 10 月 26 日「衆院選 10・31 前職優先 女性 1 人だけ」
- ・『PRESIDENT Online』2021 年 10 月 27 日「「女性候補が少ないのは女性のせいなのか」日本で女性議員が増えない本当の理由 候補者均等法はできたけれど…」<https://president.jp/articles/-/51268>
- ・『毎日新聞（有料記事）』2021 年 11 月 2 日「そこが聞きたい：韓国「# MeToo」運動＝お茶の水女子大教授・申琪榮氏」<https://mainichi.jp/articles/20211102/ddm/005/070/005000c>
- ・『東京新聞』2021 年 11 月 2 日「当選 女性は一割に満たず」<https://www.tokyo-np.co.jp/article/140332>
- ・『静岡新聞』『山陽新聞』『北國新聞』『東奥日報』『愛媛新聞』『福井新聞』ほか 2021 年 11 月 11 日「視標 衆院選と女性の政治参加「候補増へ本気度見えず」
- ・『中國新聞』2021 年 11 月 14 日「識者評論 衆院選と政治参加「女性候補増 本気見えぬ」
- ・『佐賀新聞』2021 年 11 月 16 日「評論 衆院選と政治参加「女性候補増へ本気度見えず」
- ・『高知新聞』2021 年 11 月 21 日「論レビュー 衆院選 「女性候補増 本気度見えず」
- ・『朝日新聞』2021 年 11 月 25 日「(論壇時評) 選挙と日本 堅牢な制度が阻む、新しい風」林香里東京大学大学院教授による『PRESIDENT Online』2021 年 10 月 27 日記事「「女性候補が少ないのは女性のせいなのか」日本で女性議員が増えない本当の理由 候補者均等法はできたけれど…」紹介
- ・『中日新聞』2021 年 12 月 1 日「勝静岡県知事の性差別発言に対するコメント「差別と認識せず問題」
- ・『ふえみん』No.3305 (2021 年 12 月 4 日)「【女性議員】女性候補者を増やすには政党の民主化を」

- ・『朝日小学生新聞』2021年12月10日「女性国会議員 どう増やす？」
- ・『社会運動』No.445（2022年1月15日）「ジェンダーの視点で女性の政治参画を考える」
- ・『読売新聞』2022年3月28日「「女性参画 まず政治から」 平等先進国 ルワンダ担当相に聞く：法で促進 女性国会議員6割強：男女平等度120位の日本 政治分野で特に停滞」
- ・『COUNTING COUNTS』2022年3月28日『The Return of Old Boys' Politics in South Korea?』
<https://countingcountsblog.wordpress.com/2022/03/28/the-return-of-old-boys-politics-in-south-korea/>

仙波由加里（特任講師）

- ・『ハフポスト』2021年8月30日「なぜ出自を知りたいのか。精子提供で生まれた子どもたちが望むこと」
https://www.huffingtonpost.jp/entry/story_jp_612b3981e4b02be25b5cc570
- ・『しんぶん赤旗』2021年9月17日「提供精子による人工授精—子どもに出自知る権利を」
- ・『東京新聞』2021年11月6日「真実のルーツ知りたい 都立産院取り違え、出自を知る権利 法整備急務」
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/141177>
- ・『BioNews』2022年2月14日「Donor conception in Japan; a case of buyer beware or a need for regulation?」
https://www.bionews.org.uk/page_162018
- ・『読売新聞』2022年2月17日「生みの親探し諦めぬ「出自を知る権利」争点に」
<https://www.yomiuri.co.jp/national/20220216-OYT1T50251/>
- ・『東京新聞』2022年2月22日「生殖医療と出自を知る権利（下）：「半分タイ人だね」屈託ない子どもたち …「告知」決断した母の願い 親に寄り添う支援求める声も」
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/161581>